

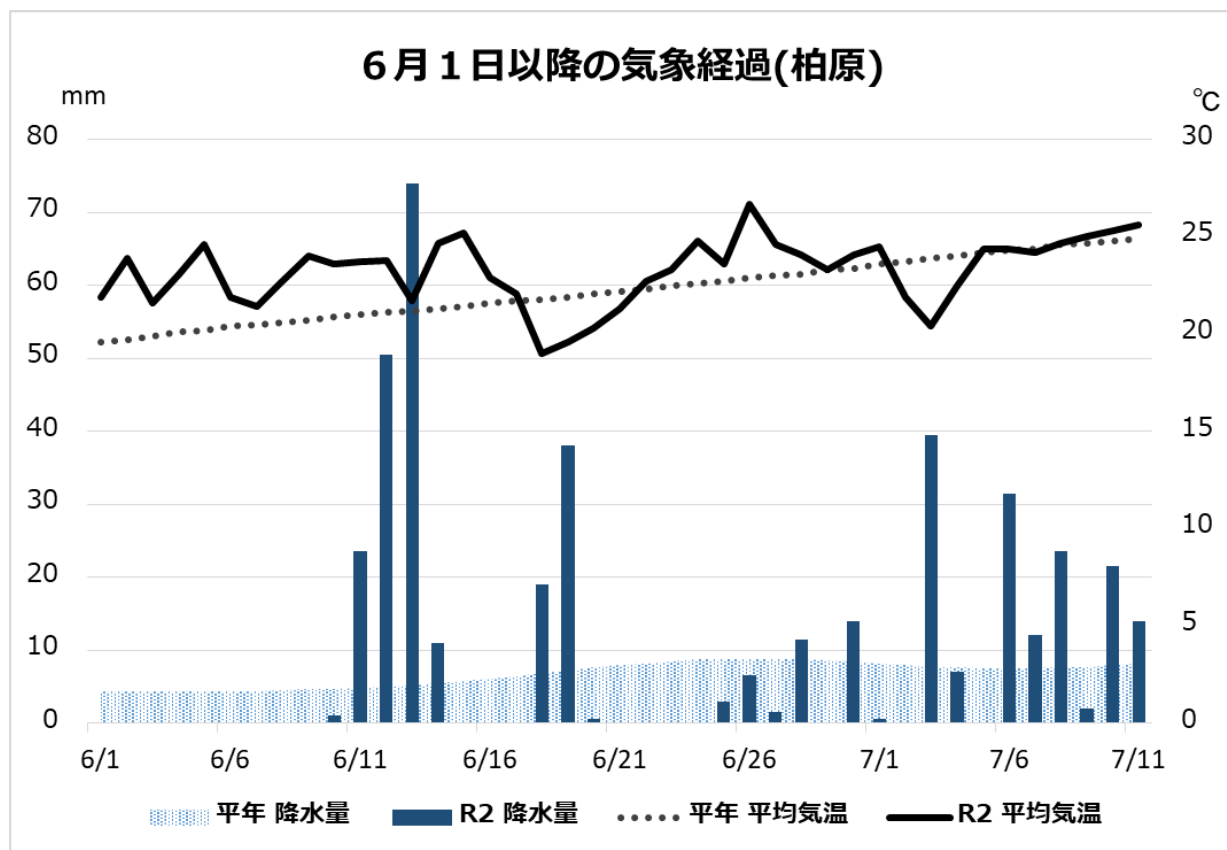
令和2年度 丹波篠山黒豆情報

長雨対策臨時号 令和2年7月13日 丹波篠山市・JA丹波ささやま・丹波農業改良普及センター

停滞する梅雨前線の影響により、梅雨入り後（6月10日ごろ）から7月11日までの降雨量は平年の約2倍となっており、32日間で22日間で降雨が確認されています。

7月12日に気象庁（大阪管区气象台）が発表した週間天気予報によると、向こう1週間は曇りや雨の日が多い予報となっており、大雨となる恐れもあります。

長雨や日照不足による生育不良や被害の発生を防ぐため、以下の点を参考に対策を行ってください。



【今後の栽培管理】

- 1 ほ場に停滞水がある場合は、谷をさらえ、畝間や排水口の連結などにより、ほ場表面の速やかな排水に努める。
- 2 土壌の多湿状態が長く続くと、根系が酸素不足となり、根粒菌の活動が抑制されることから、土壌条件が良くなったら中

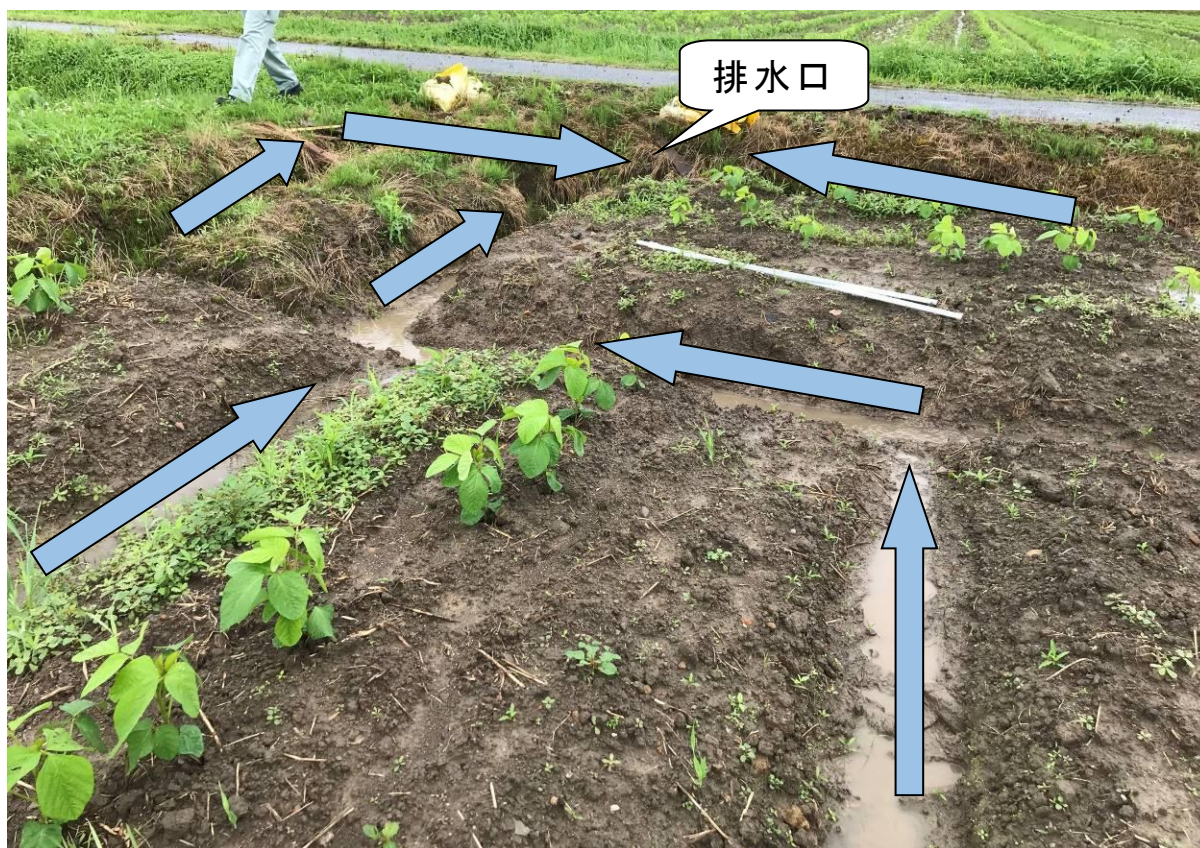
耕・培土により通気性を良くし、根や根粒の発生を促す。

また、茎疫病等の立枯性病害の発生が懸念されるため、薬剤防除に努める。

- 3 雑草の繁茂が懸念されます。中耕・培土のみで雑草を抑えきれない場合は、雑草の種類や生育ステージを確認し、除草剤を適切に使用する。

上記病害虫の防除薬剤については、必ず「丹波篠山黒大豆栽培こよみ」で確認してください。

【参考：排水対策が実施されたほ場】



→ 水の流れ